

中期経営計画

Challenge to the Future

2022  2027

ソーバル株式会社

2021.12.17
(2023.07.18更新)

経営理念

技術で社会に貢献する

ソーバルグループにとって、
最大の資源は人材です。

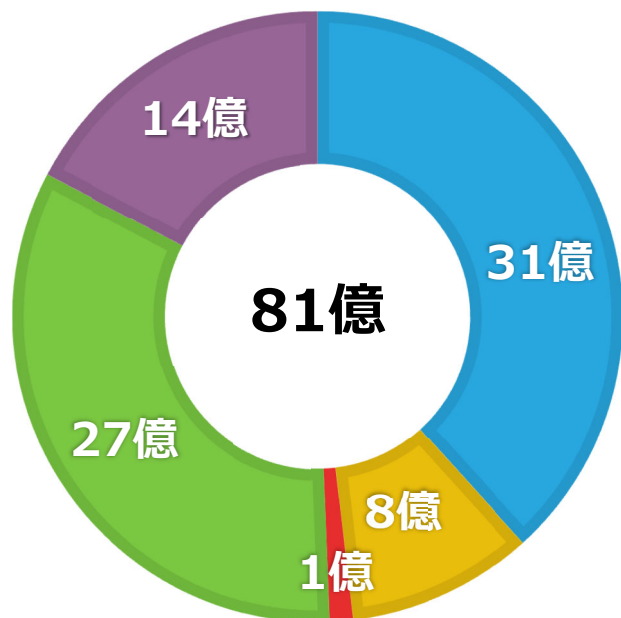
常に新しい技術に挑戦し続け、
豊かで夢のある社会づくりに貢献し、
技術者が輝く会社を目指します。

中期経営計画

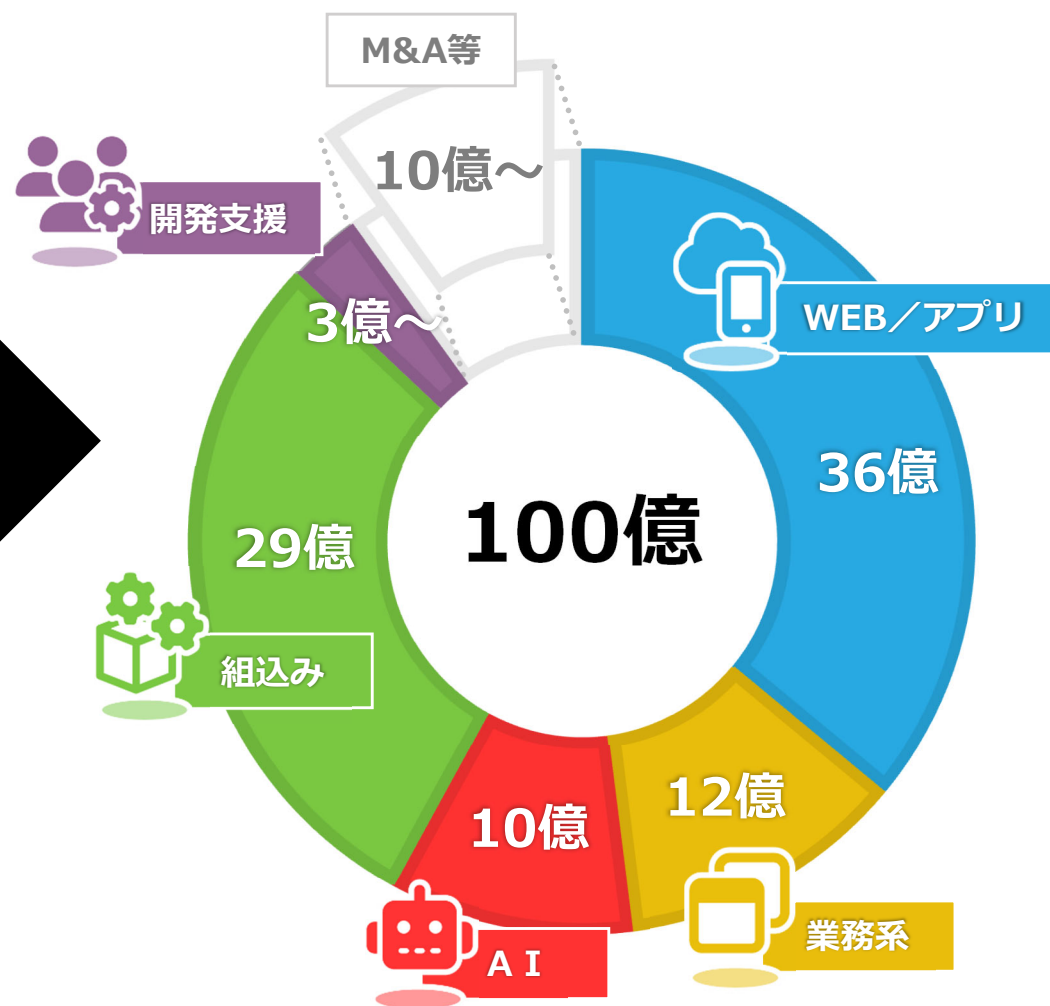
2022 >>>> 2027

経営目標 (売上)

2022年2月期



2027年2月期



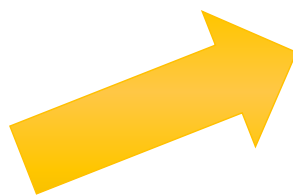
2022年8月に開発支援に含まれる品質評価業務（売上：約10億円）を事業譲渡しました。こちらの不足分については、10～30億円規模のM&A等で補うことで、経営目標は当初のまま据え置きます。（2023/7/18見直し）

主要施策

AIを 成長の柱に



2022年



2027年

行動計画

セグメント	具体的行動
WEB/アプリ	高いニーズに支えられ、多くの案件に恵まれている現状において、トレンド技術の習得・新規END案件獲得・「持ち帰り」プロジェクトの多数実施で、競争優位性を磨く。
業務系	上流工程へのさらなる参画と、Salesforce/SAPなどを利用した開発への積極的な展開を行うと同時に、ユーザへの提案活動が出来る技術者を育成する。
AI	自らが主役としてオープンイノベーションの中心に立ち、「社内人材の活用」「外部人材の雇用」「外部企業との協業」「技能向上」「顧客と案件開拓」を同時かつ不断に進める。
組込み	より高い難易度の案件を獲得するために、最新技術の研究や学習を継続的に行う。また新規の優良顧客を獲得し、持帰りの比率を高めるために更なる顧客信頼度を高める。
開発支援	開発系、AI系との相乗効果により高付加価値化を目指す。 ※目標グラフが「3億～」となっておりますが、QAとの分離時の計算見直しにつき、5～7億を目標数字とする予定としております（2023/7/18追記）